

2008年

10月6日（月曜日） - 丹後産業の『中興の祖』 錦織米市翁を偲ぶ -

本日、京丹後市の初代名誉市民で一昨年ご逝去された株式会社日進製作所のご創業者、錦織米市翁をお偲びし顕彰碑に集う会が、藤山顕彰会長様はじめ多数の会員、関係者の皆様とともに盛大に挙行されました。

かつて古代の時代、この丹後は、わが国で一番古いガラス玉工場や製鉄コンビナートがあったとされる遺跡があるとともに、奈良の都の正倉院でさえ丹後から贈られた絹織物・あしぎぬを保蔵しておくほど、当時として最先進の産業が栄えた地であり、いわばわが国のものづくりの発祥の地の一つであったと考えられます。そして、その後千数百年にわたり、ものづくりの営みが営々と重ねられてきました。

このような長い丹後のものづくりの歴史的な伝統の中で、錦織米市翁は、自らご創業された日進製作所を丹後を代表する企業に築き上げられ、今日のご隆盛はもとより丹後の機械金属業界全体を力強く牽引をされるとともに、長年、産業界全体のリーダーとして大変顕著なご活躍をなされました。また、地域全体の住民の福祉の向上と心豊かな活力あるまちづくりのために、情愛深く様々な福祉や教育にも尽くされ、あらゆる分野にわたり丹後全体の豊かな発展のうえに言い尽くせない多大なご功績を賜りました。翁は、まさに長く尊い伝統のある丹後産業界のいわば現代の「中興の祖」であり、御顕彰碑に集う本日この機会に、市民を代表して、翁の廣大無辺なご功績に対し改めて深い敬意と心からの感謝の誠を捧げます。

翁は、いつも「夢と希望、志をもつことの大切さ」「ひとづくりの大切さ」「いつも修行し、働く人や地域の幸せに貢献すること」を大切になされておられたとお伺いします。市としましても、丹後産業の将来とも持続的な発展を目指し、現在、新工業団地の造成、ものづくり人材育成拠点の形成、京都工芸繊維大学はじめ大学との連携などものづくりインフラの整備に努めているところです。改めて本日の尊い機縁に、今後とも、翁をお偲びしながら、「夢を追い、人と地域に尽くす」翁の精神を今後とも広くとこしえに私たちの肝に銘じて、丹後のものづくり、丹後の産業の限りない発展を心から期し、「ものづくり、ひとづくり、人と地域に尽くす」地域の努力を永く重ねてまいりたいと深く思いをいたしています。